



バス火災の原因は？！

—西日本防災システム

2016 02 20

近年バスの**火災**が多く発生してるな—
と 思っていたのですが……………



2月19日 国土交通省は、2011年～2014年に全国で発生した**バス火災58件**のうち、**約60%**は点検・整備作業に起因していたと発表したようです。?? どういうこと??
年式の古い車体で火災が多く発生していたようです。

4年間のバス火災58件の内、出火原因の最も多かったのは「**点検整備不十分**」の25件で、「**整備作業ミス**」の11件と合わせると全体の62%にもなるようです。整備を長期間しなかったり、部品の取り付けを間違ったりしたため、燃料漏れや電気配線のショートを引き起こした事例が目立ったそうです。58件中16件は燃料やエンジンオイルの漏れ、12件は電気配線のショートが原因で、サイドブレーキや補助ブレーキをかけたまま発進し、ブレーキが過熱して火災になったケースも7件あったそうです。 **初歩的ミス?**

2011年以前の、2007～2010年のバス火災は**61件**でしたが、整備不十分と整備ミスが占める割合は**49%**で、11年以降は増加しています。

全バス会社が所有するバスの平均車齢は**11.8年**で、火災58件の車齢別では、**17年**が最多で8件、以下 **19年**6件 **21年**5件の順だそうです。国交省の担当者は「車齢が高いと経年劣化に注意しなければならない。より入念な整備が必要だ」と 人間社会も車社会も 高齢化ということでしょうか。

人の命を預かって運航する業界ですから 当然の、**安全確保**ができない業者は徹底的に排除してゆくべきです。



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>

弊社top pageへ 